

efitOne Ver.2.1.0 アップデート概要

2023年11月
株式会社 ニコン・トリプル

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
本書では、efitOne Ver.2.1.0で追加や変更を行った機能の概要を説明します。

■ 選択位置の表示

◆データ選択中の選択位置を、画面に表示しました。

対応画面

「任意点設置、平面観測、座標観測、横断観測、境界点間観測、交点計算、3次元面積計算、ヘロン面積計算」



●データ選択中の場合

[選択位置/総数] を表示します。

※ 左画面の例の場合

登録済みデータ2個中の2個目を選択なので
[2 / 2] の表示になります。



●新規データの場合

[総数 + 1] を選択位置に表示します。

※ 左画面の例の場合

登録済みデータ2個+1で、選択位置は3となり
[3 / 2] の表示になります。

■ データ訂正時の目標高、定数の画面反映

◆データ訂正時に、観測時の目標高、定数が観測画面に反映されるように改良しました。

例) データを選択して訂正する場合



● 観測データ選択時

緑色のマークを表示します。



● 値の変更時

観測当時と異なる値を入力すると
オレンジ色のマークに変化します。

RECを押した場合、画面の値で記録します。

例) 新規観測の場合



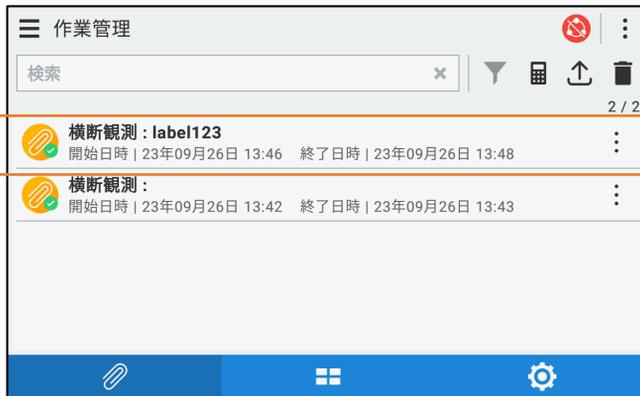
● 新規観測時

マークは表示しません。

■ 横断観測 1断面1作業へ変更

◆横断観測での作業単位を「1作業データ1路線（複数断面）」から「1作業データ1断面」へ変更しました。

過去のバージョン（1作業データ1路線）



【 V2.1.0にアップデート後 】

過去バージョンで作成の横断作業を開いた場合
以下の変換処理が発生します

●作業の細分化

1作業データ（1路線）に複数断面が存在した場合は、自動で1断面ごとの作業データへ細分化します。

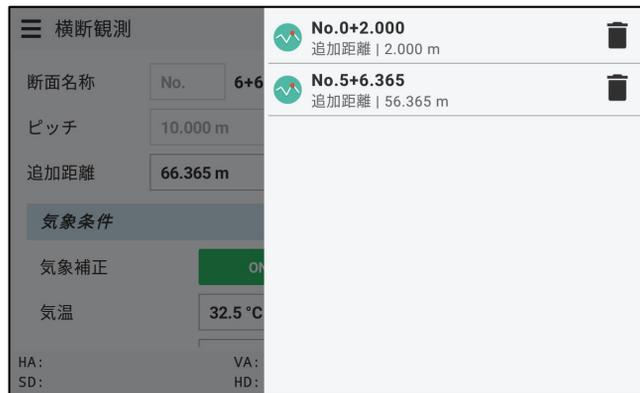
●作業ラベルの付与

作業データを細分化する際に
作業ラベルは以下の方法で新たに付与します。

【 ①作業ラベル + (②断面名称) 】

※断面名称は追加距離と名称から付与

※作業ラベルが空白の場合は断面名称が作業ラベルになります。



V2.1.0にアップデート後



v2.1.0（1作業データ1断面）



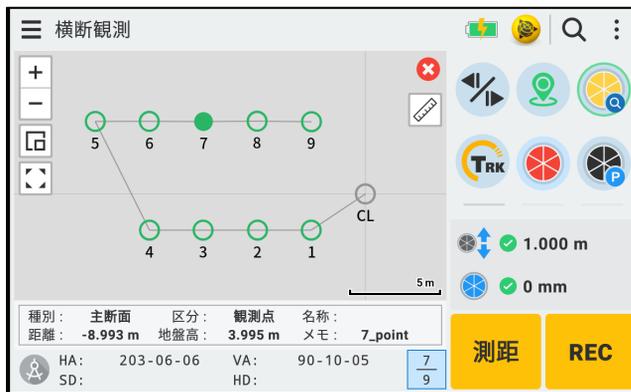
※ 上画面の「label123」作業データ(1路線)の場合

①No.5+6.365

②No.0+2.000 の断面は左画面のように細分化します。

■ 横断観測 挿入機能

◆ 選択した点の前に新規観測点を挿入できる機能を追加しました。



【挿入機能の利用方法】

例) 7番の前に (7番と6番の間) 新規観測点を追加したい場合

1. 7番目のデータ選択します。

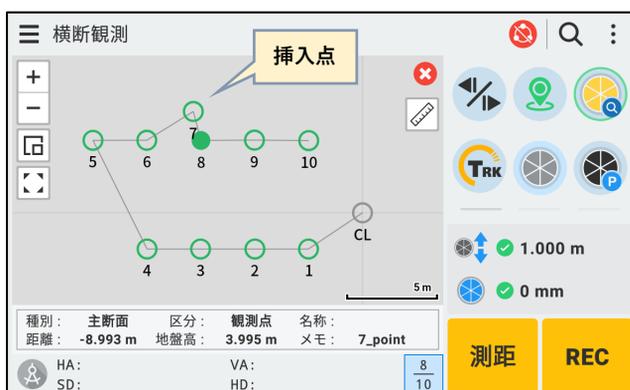


2. 右上オーバーフローメニューから [挿入] を選択します。



3. 新たに挿入したい点を観測します。

観測後



※ 左画面の例の場合
新たに7番が新規観測点として挿入されました

■ 測設条件に3次元／2次元の設定を追加

◆測設条件に3次元／2次元の設定を追加しました。



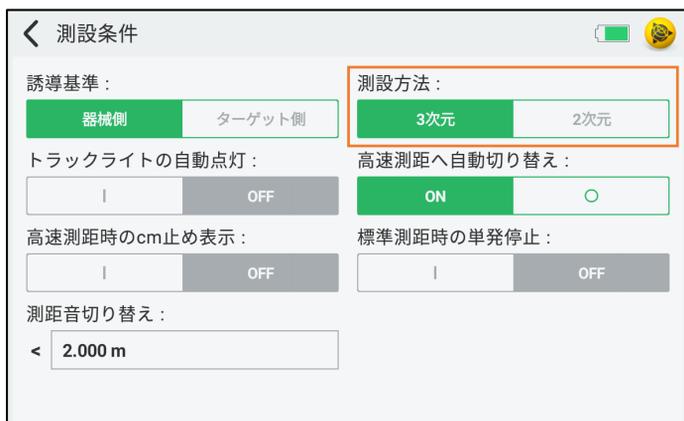
【設定方法】

●単点の場合

測設点選択の画面から設定可能です。

●測設計画の場合

測設条件から設定可能です。



【表示画面】

●2次元測設の場合

上下誤差が **非表示** になります。



●3次元測設の場合

上下誤差を **表示** します。

※ 器械設置と測設点が3次元座標の時のみ表示します。

以上